

2019年度 「学生プロデュース」実施結果報告書

1 プロジェクト名

とどけよう!!みんなのこえ!!コンサート vol.7「めぶく」

2 実施日程

①出前授業（大阪教育大学附属平野小学校）

9月3日（火）

②児童合唱練習及び震災に関するワークショップ

（リビエールホール内レセプションホール、柏原市公民館国分分館、大学音楽棟リハーサルホール）

9月29日（日）、10月12日（土）（台風19号の影響により中止）、10月20日（日）、10月27日（日）、
11月4日（月祝）

③学生混声合唱練習（大学音楽棟リハーサルホール、K-101）

10月8日（火）、10月15日（火）、10月18日（金）、10月24日（木）、10月25日（金）、10月29日（火）、
11月5日（火）、11月8日（金）

④学生オーケストラ練習（大学音楽棟リハーサルホール）

10月24日（木）、10月29日（火）、10月31日（木）

⑤広報活動（柏原市立小学校、柏原市内の公共施設、大学内、SNS等）

9月～11月

⑥とどけよう!!みんなのこえ!!ゲリラライブ（サンクンガーデン）

10月25日（金）

⑦とどけよう!!みんなのこえ!!コンサート vol.7「めぶく」（大学音楽棟リハーサルホール）

11月10日（日）

3 実施内容

①昨年度のコンサート内で行った、震災に関する絵本『トミジの海』の読み聞かせと創作音楽の演奏を、大阪教育大学附属平野小学校 第4学年音楽の授業内で出前授業として実施し、音楽を通して震災について考えてもらう機会を設けた。

②とどけよう!!みんなのこえ!!コンサートに向け、6月末から柏原市教育委員会に後援を依頼し、柏原市内の公立小学校10校から参加希望者を募集。9月末から開始した児童合唱練習では、本プロジェクトの学生が合唱の指導を行った。また、練習内で震災に関するワークショップを2回行った。（絵本『ぼくは海になった～東日本大震災で消えた小さな命～』の読み聞かせ、本学の写真サークル FILM が写した被災地の写真と取材のお話）

③④とどけよう!!みんなのこえ!!コンサートに向け、本プロジェクトの活動に興味のある学生有志を募り、練習を行った。

⑤コンサートに向けた広報活動としては、児童合唱参加児童の在籍する柏原市立小学校10校や、図書館や公民館などの柏原市内の公共施設にチラシを郵送または設置させていただいた。また、学内ではチラシの掲示や配布を行った。

本プロジェクトの活動に関する広報活動としては、昨年度までと同様に Facebook や Twitter で児童合唱の様子やプロジェクトの活動内容について、学内外に発信した。また、今年度からの新たな試みとして、Instagram を開設し、広報活動を拡大した。「とどけよう!!みんなのこえ!!SNS プロジェクト」では、出演者やコンサートに関わる人々の笑顔とメッセージを集めて投稿し、本プロジェクトへの想いを込めた「みんなのこえ」を発信した。

⑥本プロジェクトの活動を学内のより多くの人に知ってもらい、とどけよう!!みんなのこえ!!コンサートに足を運んでもらうための広報活動の一環として、学生が多い昼休みの時間帯に本学のコンビニ前でゲリラライブを開催した。演奏と並行し、コンサートのチラシ配布と募金活動を行った。本学の広報室にも協力をお願いし、大学の SNS を通じて、ゲリラライブの様子やコンサートの情報を発信していただいた。

⑦午前中にリハーサルを行い、14時からコンサートを開始。内容は以下の通りである。

- ・学生合唱：A flower remembered 永遠の花、貝殻のうた（本学学生有志）
 - ・ワークショップ：テーマ「復興×音楽～復興を願って作られた音楽の力～」
 - ・児童合唱：パプリカ、群青（柏原市の子どもたち）
 - ・全体合唱：私とあなたここに生まれて、花は咲く（柏原市の子どもたち、本学学生有志による合同ステージ）
- また、ホール前では「とどけよう!!みんなのこえ!!SNS プロジェクト」の写真とメッセージを展示すると共に、来場者にも SNS プロジェクトの趣旨を説明し、参加していただいた。コンサート終了後、募金活動を行い、後日「一般社団法人クリエイト兵庫 iNG」へ寄付を行った。

これらの他に、本プロジェクトの学生メンバーで、企画運営や実施に関する会議（全 23 回）を行った。

4 経費の使途

事 項	数 量	単 価	合計金額	備 考
付箋	1 パック	453	453	
ポリエステル紐	2 巻	1,266	2,332	
楽譜	1 冊	432	432	
楽譜	1 冊	520	520	
コピー用紙	1 箱	1,717	1,717	在庫支給振替
楽譜	5 冊	520	2,600	
送料	1 式	350	350	
布テープ	3 巻	161	483	
養生テープ	3 巻	260	780	
公民館使用料	1	500	500	
プログラム印刷	1 式	26,700	26,700	
SD カード	1 枚	1,540	1,540	
乾電池	1 パック	120	120	
封筒	1 袋	640	640	
DVD	3 パック	1,220	3,660	
ラミネートフィルム	1 箱	1,039	1,039	
著作物使用料 (JASRAC)	1 式	3,520	3,520	
チラシ印刷	1 式	6,060	6,060	
ホール使用料	1 式	13,200	13,200	
付属設備利用料	1 式	4,200	4,200	
郵便代 (10 月)	—	3,900	3,900	柏原郵便代振替

著作物使用料 (JASRAC)	1 式	3,590	3,590	
著作物使用料 (NexTone)	1 式	1,100	1,100	
郵便代 (12 月)	—	3,710	3,710	柏原郵便代振替
合 計			83,146	

5 プロジェクトの成果

本プロジェクトでは、以下の3つを目的としていた。

- 1.復興コンサートを開催し、企画者や出演者及び関係者が、東日本大震災や熊本地震をはじめとするこれまでに起きた様々な災害について再認することで、災害の記憶の風化を防ぎ、継続的な復興支援を行えるようなきっかけをつくる。
- 2.復興コンサートを開催し、募金を集め、被災地支援の団体に寄付をすることで被災地を支援する。
- 3.今年度は「めぶく」をテーマとし、コンサートの開催に加え、新たな取組みとして出前授業を行う。

これらの目的でプロジェクトの活動を行い、以下のような成果があがった。

①今年度の新しい取り組みとして行った出前授業では、音楽を通し、子どもたちが災害や防災について考える機会を設けることができた。出前授業を行った小学校の児童からは「災害は急に起こるから、びっくりして怖いけど、そういう時も落ち着いて自分の命を大切にしないといけないなあと思った」「今までは『いつ来るか分からないし』と思っていたけど、これからは『いつ来てもいいように』という気持ちで過ごしたい」という意見や感想があった。(児童のワークシートより一部抜粋)

②とどけよう!!みんなのこえ!!コンサートには、柏原市内の39名の子どもたちが参加してくれた。児童合唱の練習では、震災に関する曲を取り上げて歌詞の意味から被災地の人々に思いを馳せたり、練習内のワークショップで被災地の当時の様子や現在の様子を知ったりすることで、子どもたちが過去に起きた様々な災害について認識するだけでなく、これからの自分たちについても深く考える場をつくることができたと思う。

③コンサートのプログラムは、学生合唱・児童合唱共に、震災に関する曲を多く演奏した。また、コンサート内のワークショップでは、復興を願って作られた音楽について取り上げたことで、来場者からは「歌のみでなく、コンサートの意義が伝わってきて良かった」「これからも災害がまたいつどこで起こるかわからないので伝え続けたいと思った」「阪神淡路大震災など多くの災害を経験したが、多くの方が歌で活動したり、応援されている事を初めて知った」などの声をいただくことができた。(来場者アンケートより一部抜粋)

④3.実施内容⑥⑦の募金活動で集まった13057円の寄付金は、全て「一般社団法人クリエイト兵庫 iNG」へ寄付を行った。寄付金は、全国各地の被災地の復興支援に役立てていただく予定である。

⑤コンサートの企画及び運営や、出前授業を行う中で、日々音楽に関わる活動に取り組んだり、教員を目指して学んだりしている学生として、学んだことが多かった。教育委員会や保護者の方々とのやり取り、児童合唱練習時の安全管理、子どもたちとの関わりなど、本企画を通して経験したことは、将来教育現場に出た際に役立てることができると思う。

全体を通して、「めぶく」というテーマのもと、企画者が出前授業やコンサートを行い、震災をはじめとする災害について考えるきっかけをつくることができた。学生や子どもたちのみならず、保護者の方々やコンサートの来場者など、様々な人が震災についての理解をより深め、災害や防災について考える機会を増やすことができた。